

糖尿病注意報発令中

糖尿病の「3大合併症」

●問い合わせ 保健医療課健康支援室
☎53-2111 (内線2441~2443)

表1：糖尿病の合併症

細小血管障害	①糖尿病性網膜症 ②糖尿病性腎症 ③糖尿病性神経障害
大血管障害	・狭心症、心筋梗塞 ・脳血管障害 ・末梢動脈疾患
その他	足病変、骨病変、手の病変、 歯周病、認知症など

■糖尿病の合併症

糖尿病の合併症には、細い血管に見られる細小血管障害と太い血管に見られる大血管障害の2つがあります(表1)。

今回は細小血管障害についてお話します。

■細小血管障害

細小血管障害には、糖尿病の3大合併症と言われる「網膜症・腎症・神経障害」があります。

①糖尿病性網膜症

網膜には細かい血管が一面に張り巡らされていますが、高血糖により、眼底出血を起こし、視力障害をもたらすことがあります。

糖尿病による網膜症で失明する人は全国で毎年3千人と言われており、成人の失明の主な原因となっています。

市の国保加入者で見ると、糖尿病患者の7%の人が糖尿病性網膜症を発生しています。

②糖尿病性腎症

腎臓は、不要な老廃物を尿として排泄し、必要なものを再吸収する大事な働きをしています。糖尿病による腎症で透析を開始する人は全国で毎年1万数千人と言われています。

市の国保加入者で見ると、糖尿病患者の約6%の人が糖尿病性腎症を発生しています。

③糖尿病性神経障害

高血糖により、手足や足先などの末梢神経が傷つけられ、しびれや熱さ、痛みなどを感じにくくなります。その結果、やけどやけがに気付かず手当が遅くなってしまう、潰瘍や壊疽になることもあります。

市の国保加入者で見ると、糖尿病患者の約3%の人が糖尿病性神経障害を発生しています。

■血糖コントロール目標値

合併症は血糖のコントロール、適切な受診によって進行を遅らせることができます。

合併症予防のためには、HbA1cが7.0%未満とされています(表2)。既に糖尿病で治療中の人も、健診を受けて健康状態を確認してみてください。

合併症予防のためには、HbA1cが7.0%未満とされています(表2)。既に糖尿病で治療中の人も、健診を受けて健康状態を確認してみてください。



表2：血糖コントロール目標値

	血糖正常化を目指す際の目標値	合併症予防のための目標値	治療強化が困難な際の目標値
HbA1c (%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満